

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 日本に於ける COVID-19 患者での血栓症・抗凝固療法の診療実態を明らかにする研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 助教 池田長生

【研究の目的】

新型コロナウイルス感染症では、血栓症と呼ばれる血の塊が血管内に出来る病態の危険性が高いといわれておりますが、日本でのその実態や最適な管理方法は不明な点があります。今回、それらを調査・評価する事を目的とし、日本での COVID-19 患者の詳細な実態をカルテ調査し、同病態に対する一番良い治療方針が明らかになる意義があります。先行的な研究として、既に日本静脈学会・肺塞栓症研究会による全国簡易アンケート調査の参加施設が本研究の土台となっており、当院はその共同研究機関として参加しています。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者： 2021年4月1日～2021年9月30日までに、東邦大学医療センター大橋病院において、新型コロナウイルス感染症と診断され入院されて診療を受けた方(およそ40人)。

方法： 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：病歴、診療の治療歴、抗凝固療法の有無と詳細、血液検査値、CT検査結果、下肢超音波検査結果 等

【外部への試料・情報の提供】

本研究は多施設共同研究のため、当院から京都大学医学部附属病院のデータセンターへ、個人情報かわからない形で臨床情報を提供し、統計学的な解析を行います。

【研究組織】

主任研究施設名： 福島第一病院 研究代表者： 小川智弘 役職： 病院長

研究分担者・分担施設： 池田長生(助教) 東邦大学医療センター大橋病院 など

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。承諾されないことの意味表示は代諾者の方でも可能です。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

職位・氏名 助教 池田長生

電話 03-3468-1251 内線 2122